水産研究・教育機構 機関リポジトリ
FRA Japan Fisheries Research and Education Agency Institutional Repository

親潮･混合域の低次生態系モニタリング

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-11-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 伊藤, 進一 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012398

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.

親潮・混合域の低次生態系モニタリング

混合域海洋環境部

研究の背景・目的

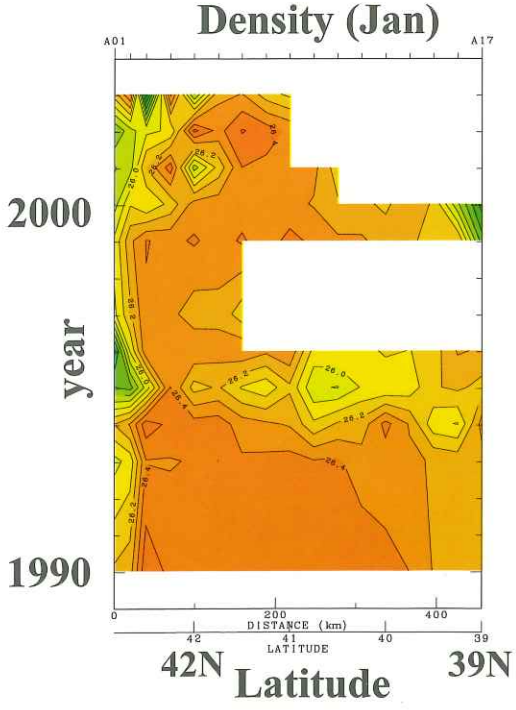
1. 親潮・混合域の低次生態系のモニタリングと構造の把握
2. 地球温暖化の影響を評価・推測

研究成果

1. 冬季の混合層内の密度が低下し，混合層が浅化．栄養塩，純基礎生産の低下傾向と一致しており，温暖化の影響の可能性有り．
2. 夏季は逆に動物プランクトン現存量が増加．温暖化とは別の応答が存在．

波及効果

1. モニタリング体制の確立
2. 観測精度水準の向上に伴ない地球温暖化の検知が可能に．



北海道区水産研究所と共同でモニタリングを実施しているA-line上における1月の混合層密度の経年変化．横軸はA-line上における緯度を示しており，左側が北にあたる．縦軸は年を表している．等値線は混合層内の密度を表しており，1994年を境に密度1.0264kg/m^{3}よりも重い海水が形成されていないことがわかる．冬季混合層の密度が軽く、混合層が浅くなると下層からの栄養塩供給が減り，植物プランクトンの基礎生産が減少し，餌量動物プランクトン等の生産も下がる．